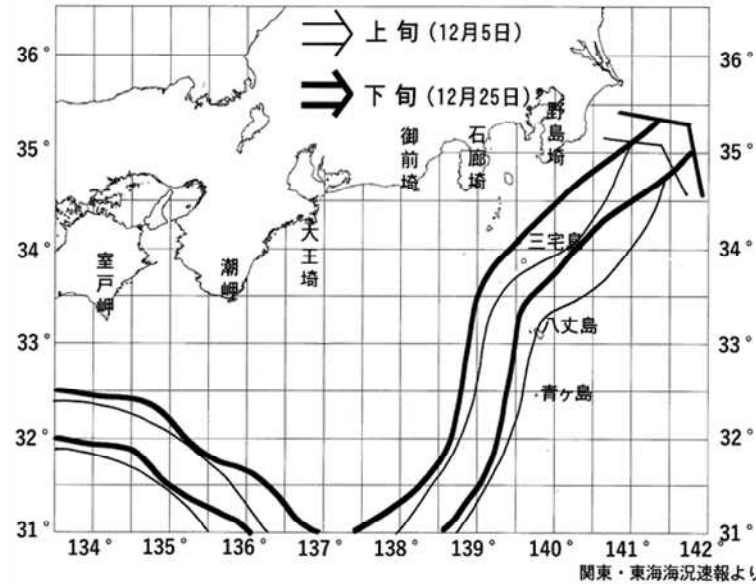


漁海況月報

令和5年12月1日

No. 12 ~12月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



12月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.1	17.5	17.3	17.6	17.1	17.0
	-0.9	-1.0	-1.0	-0.6	-1.0	-1.0
中旬	17.4	17.4	16.8	17.9	17.5	16.1
	0.5	-0.2	-0.5	0.7	0.5	-0.9
下旬	16.2	16.0	15.7	16.4	15.9	15.3
	0.1	-0.7	-1.0	0.0	-0.4	-1.1
月	16.9	16.9	16.6	17.3	16.8	16.1
	-0.1	-0.7	-0.9	0.0	-0.3	-1.1

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

【黒潮流路】

12月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、上旬は八丈島まで、中旬~下旬は三宅島~八丈島間まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、遠州灘沖31.0°N付近から八丈島付近33.5°Nまで北上した後、三宅島~八丈島間を通過して北東に流去した。

中旬は潮岬沖で大きく離岸し、遠州灘沖31.0°N付近から三宅島~八丈島間33.5°Nまで北上した後、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘及び大島西水道に向けて見られた。

下旬は潮岬沖で大きく離岸し、大王崎沖31.0°N付近から三宅島~八丈島間33.5°Nまで北上した後、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘及び大島西水道に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は全ての地点で「やや低め」であった。中旬は下田、焼津で「やや低め」、稲取で「平年並」、伊東、雲見、沼津で「やや高め」であった。下旬は稲取、下田、焼津で「やや低め」、伊東、雲見、沼津で「平年並」であった。

【竿釣カツオ】

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは0.8トンであった(前年同月の水揚げなし)。平均単価は975円/kgであった。

なお、漁場や魚体サイズは聞き取り調査ができなかったため不明である。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年12月上旬	0.8	1	0.8	975
中旬	-	-	-	-
下旬	-	-	-	-
R5年12月計	0.8	1	0.8	975
R4年12月計	-	-	-	-
R3年12月計	20.0	14	1.4	639

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は161.4トンで、前年(234.9トン)の69%、平年(287.9トン)の56%であった。また、1か統当たりの水揚量は23.1トン(前年:33.6トン、平年:41.1トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(44.6トン、ふぐ類、マルソウダ、さば類)、次いで伊豆山漁場(30.8トン、さば類、ふぐ類、やがら)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、さば類は35.7トンで、前年比1.1倍、平年比48%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは8.2トンで、前年比84%、平年比1.8倍、ゴマサバは27.5トンで、前年比1.2倍、平年比38%であった。ふぐ類(シロサバフグ、クロサバフグ主体)は30.5トンで、前年比3.8倍、平年比5.9倍であり、12月の水揚量としては1987年以降最も多かった。マルソウダは19.3トンで、前年比21%、平年比1.6倍であった。スルメイカは10.4トンで、前年比2.3倍、平年比33%であった。イサキは9.6トンで、前年比1.6倍、平年比3.7倍であった。なお、この他伊豆山漁場を中心にやがら(アカヤガラ主体)の水揚げが5.6トンあった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、さば類では川奈漁場が25%(8.7トン)、伊豆山漁場が23%(8.1トン)、北川漁場が18%(6.6トン)、富戸漁場が15%(5.2トン)、ふぐ類では古網漁場が60%(18.2トン)、伊豆山漁場が21%(6.3トン)、マルソウダでは古網漁場が28%(5.5トン)、北川漁場が20%(3.8トン)、谷津漁場が18%(3.4トン)、スルメイカでは谷津漁場が40%(4.2トン)、富戸漁場が19%(2.0トン)、北川漁場が18%(1.8トン)、イサキでは谷津漁場が58%(5.6トン)、赤沢漁場が22%(2.1トン)であった。

*平年：昭和57年~令和4年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	35.7	1.06	0.48	川奈、伊豆山、北川、富戸
ふぐ類	30.5	3.77	5.85	古網、伊豆山
マルソウダ	19.3	0.21	1.60	古網、北川、谷津
スルメイカ	10.4	2.30	0.33	谷津、富戸、北川
イサキ	9.6	1.61	3.66	谷津、赤沢

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じて、たもすくい漁業主体で操業し、漁場は月を通じて大島千波に形成された。水揚量はゴマサバ79トン（前年同月比72%）であり、1隻当たり水揚量は5.6トン（前年同月比41%）であった。マサバは、ゴマサバに僅かに混じる程度であった。ゴマサバの1kg当たり平均単価は216円と前月（207円）、前年同月（161円）をともに上回った。漁獲物の体長組成は、33cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年12月上旬	0	44	4	7	0	6.2	293	221	大島千波
中旬	0	35	4	7	0	5.0	208	209	大島千波
下旬	-	-	-	-	-	-	-	-	大島千波
R5年12月計	0	79	8	14	0	5.6	237	216	大島千波
R4年12月計	-	110	5	8	-	13.8	-	161	大島千波、利島
R3年12月計	0	234	8	12	-	19.5	127	124	大島千波

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

【サクラエビ船曳網】

12月の出漁日数は10日、水揚量は152.4トンであった（前年同月の出漁日数は5日、水揚量は103.3トン）。主漁場は大井川沖～相良沖であった。水揚げされたサクラエビは体長31～33mmにモードを持つ当歳エビと40～41mmにモードを持つ1歳エビで構成されていた。

なお、今秋漁は12月24日夜の操業で終漁し、総水揚量は192.0トン、出漁日数は17日であった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R5年12月上旬	113.8	5	大井川沖～相良沖
中旬	33.2	4	栃山川沖、大井川沖、榛原沖
下旬	5.3	1	榛原沖
R5年12月計	152.4	10	大井川沖～相良沖
R4年12月計	103.3	5	大井川沖～相良沖
R3年12月計	75.2	7	吉田沖～相良沖
R2年12月計	44.3	5	大井川沖～相良沖

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

県内主要6港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が205kg、駿河湾（吉田、用宗）が187kgであった。平均水揚量は197kgで前年同月（77kg）の2.6倍、前年同月（過去5か年平均：133kg）の1.5倍であった。また、総水揚量は252.9トンで前年同月（39.0トン）の6.5倍、平年同期（87.6トン）の2.9倍で前年、平年を大きく上回った。平均単価は1,123円/kgで前年同月（2,068円/kg）の54%、平年同月（1,143円/kg）の98%で、前年を大きく下回り、平年並であった。

主要6港のシラス水揚量（主要6港）

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	6.5	7	31	211	785
	舞阪	65.9	11	330	200	861
	福田	44.2	11	265	167	1,166
	御前崎	27.8	8	79	352	1,183
駿河湾	吉田	49.8	12	311	160	1,333
	用宗	58.7	13	270	218	1,215
R5年12月計	252.9	62	1,286	197	1,123	
R4年12月計	39.0	29	506	77	2,068	
R3年12月計	166.7	46	853	195	770	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年：過去5か年（平成30～令和4年）平均値

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚量は、伊東港では22.4トン（前年水揚げなし、前年同月比26%）、沼津港では7kg（前年同月0.2%、前年同月比0.4%）、小川港では3kg（前年同月0.1%、前年同月比0.02%）、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港ともに水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは11kg、カタクチイワシは水揚げがなかった。

*平年：過去5か年（平成30～令和4年）平均値

【調査船駿河丸の動向】

12月 1日	水質調査	(1日間)
12月 4日～	12月 5日 地先定線観測調査	(2日間)
12月 11日～	12月 12日 いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
12月 14日～	12月 15日 さば類撒餌調査	(2日間)
12月 19日～	12月 20日 さば類撒餌調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

